

ウイルス肝炎から 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)へ



やまもと しんいちろう
消化器科 山本 晋一郎 先生

平成19年4月から土曜の午前
のみの外来を担当させて頂き、
すでに7年目を迎えています。
川崎医大肝胆膵内科で33年間主
として肝臓病の診療を中心とし
て、特に肝がんの局所治療(エ
タノール注入療法やラジオ波治
療)に力を入れていました。

過去30年の肝臓病はウイルス
肝炎(B型、C型肝炎)が一番中心
でありましたが、それぞれの治
療法もほぼ確立され、これから
は生活習慣病として脂肪肝が注
目されてきております。特に脂
肪肝の中で一部、慢性肝炎、肝

硬変、肝がんへと進展するもの
があることが認識されるよう
になりました。私自身も11年前に
NASHからの肝硬変患者で肝がん
を合併した例を肝臓学会の機関
誌に論文を出したこともあり、
この方面には興味があります。
B肝もC肝も新たな患者は出なく
なり、肝臓病は減少傾向となっ
ておりますが、今まであまり顧
みられなかった脂肪肝に注目が
集まるようになってきておりま
す。当院でもドックや生活習慣
病外来などで脂肪肝、高脂血症、
糖尿病などが多く集まってお
り、その中にはNASHの患者も含
まれていると思われます。した
がって、複数の部門が協調して
協同でNASH患者をフォローでき
る連携が可能ではないかと夢想
しております。

最後に私個人の紹介です。生
まれは徳島県、血液型AB型、池
田高校出身で、岡山大学を昭和
42年に卒業(鈴木名誉院長は同
期です)。岡山大学第一内科に
入局、31歳から65歳まで川崎医
大に在籍、定年退職後は川崎医
療福祉大学に7年非常勤で勤務

し、今年3月で退職。川崎医大
時代には大橋先生や富山先生と
同じ教室で仕事をさせて頂きま
した。趣味は剣道で、現在も週
2~3回稽古をしております。診
察のモットーは「患者さんの声
をよく聞くこと」。

今後ともどうぞよろしくご交
誼をお願い致します。



写真は当時の日本武道館で、東京オリン
ピックの翌年に開催された『第64回全日
本学生剣道優勝大会』に3年連続、中・四
国地区代表で出場された時のもの。

山本先生は毎週土曜日午前の消化器
科の外来診療を担当されています。

Doctor's Eyes